



厚生労働省 三重労働局発表

令和3年5月27日(木)

| | | |
|---|---------------------------|-----------------|
| 担 | 厚生労働省三重労働局職業安定部 職業安定課長 | 藤木 真保 |
| 当 | 職業安定課長補佐 | 堀 保 |
| | 地方労働市場情報官 | 辻村 尚人 |
| | | 電話 059-226-2305 |

報道関係者 各位

「雇用情報モニター報告集計結果(令和3年度第1・四半期)」

三重労働局では、県内企業・経営者団体等に雇用情報モニターを委嘱し、企業活動の実績と見通し、雇用動向等についての報告を、年4回(四半期毎)提出いただいております。

このたび、令和3年度第1・四半期(令和3年4月～6月)実績見込み及び次期(令和3年7月～9月)見通しの集計結果を取りまとめましたので公表します。

調査結果 主な項目の概要

○ 受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が33.3%で前期と比べ増加、「減少」が23.3%で前期と比べ増加、D I(「増加」-「減少」)は10.0で前期と比べ1.7ポイント下降。次期見通しは13.3で上昇予想。

○ 企業収益の実績見込みと今後の見通し

「増加」が24.2%で前期と比べ減少、「減少」が29.0%で前期と比べ増加、D I(「増加」-「減少」)は▲4.8となり前期と比べ9.6ポイント下降。次期見通しは11.3で上昇予想。

○ 稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が31.7%で前期と比べ増加、「減少」が18.3%で前期と比べ同率、D I(「増加」-「減少」)は13.4となり前期と比べ10.0ポイント上昇。次期見通しは8.3で下降予想。

○ 設備投資の見込み

「ある」が22.6%で前期と比べ8.3ポイント増加、「ない」が46.8%で前期と比べ8.8ポイント減少。D I(「ある」-「ない」)は▲24.2で前期と比べ17.1ポイント上昇。

○ 従業員の過不足判断

「過剰」は0.0ポイントで前期と比べ減少、「やや過剰」は10.5ポイントで前期と比べ増加、「不足」は1.6ポイントで前期と比べ減少、「やや不足」は17.7ポイントで前期と比べ増加。D I(「過剰」-「不足」)は▲8.8となり前期と比べ5.6ポイント下降(過剰判断が減少)。次期見通しは▲14.5で「不足」判断はやや増加の予想。

○ 雇用調整の状況

実施事業所数は29事業所(46.8%)で、前期の25事業所(40.3%)より4事業所の増加。

○資料

別添 「令和3年度 雇用情報モニター報告集計」

○参考

- ・調査対象 地域経済にかかわりの深い企業の中から公共職業安定所長の推薦により労働局長が委嘱した、民間企業及び事業主団体
- ・調査方法 調査票により、モニターから公共職業安定所長に郵送等により提出
- ・調査時期 令和3年度第1四半期（令和3年4月～6月）実績見込み及び次期（令和3年7月～9月）見通しについて
- ・モニター内訳 民間企業64社（建設業2、製造業47、運輸業2、小売業8、サービス業等5）事業主団体等8
- ・回答状況 民間企業64社、事業主団体等8団体

（注）集計結果には、業種別等の偏りがあると思われるのでご了承ください。

令和3年度 雇用情報モニター報告集計

令和3年度 第1・四半期
三重労働局職業安定部職業安定課

令和2年度第4・四半期（3年1月～3月 以下前期）においては、多くの指標のD Iがプラスとなりましたが、令和3年度第1・四半期（3年4月～6月 以下今期）においては、多くの指標のD Iがマイナスとなりました。

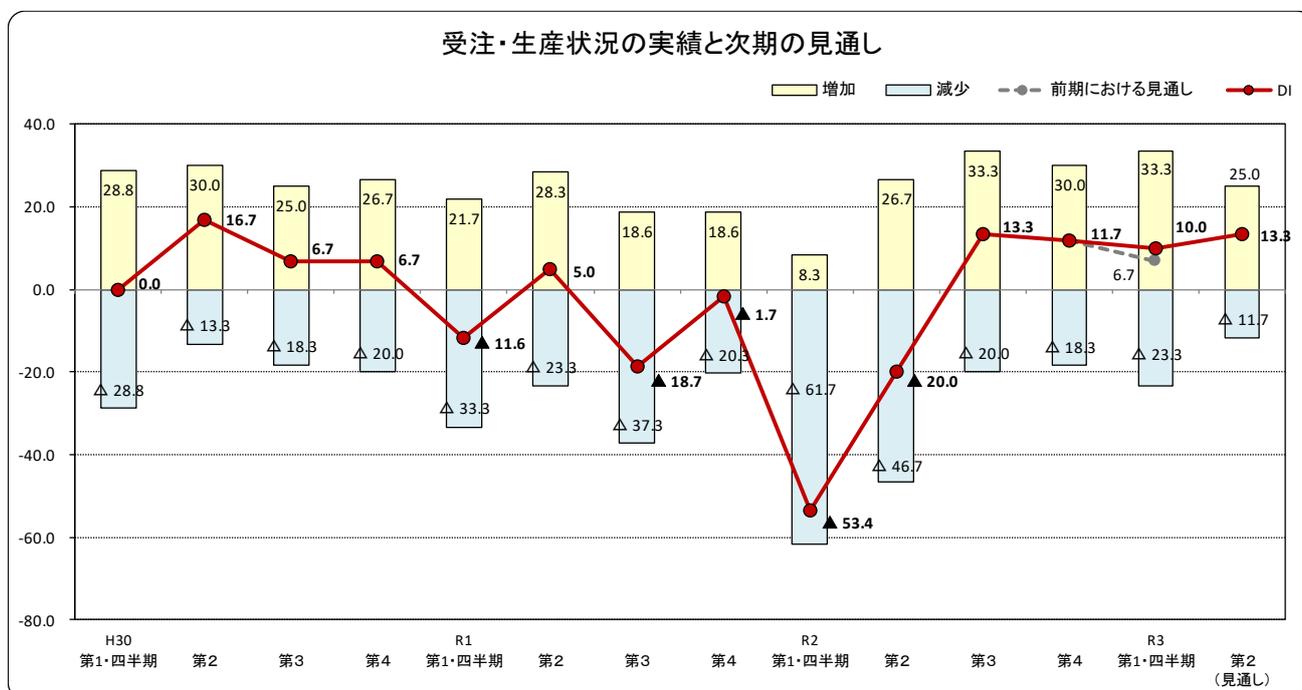
次期の予想においては、多くの指標で上昇の見通しとなっています。

1. 受注・生産動向について

【受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の受注・生産状況では、「増加」が33.3%、「減少」が23.3%で、D I（「増加」－「減少」）は10.0で前期と比べ1.7ポイント下降しましたが、3期連続でプラスとなりました。

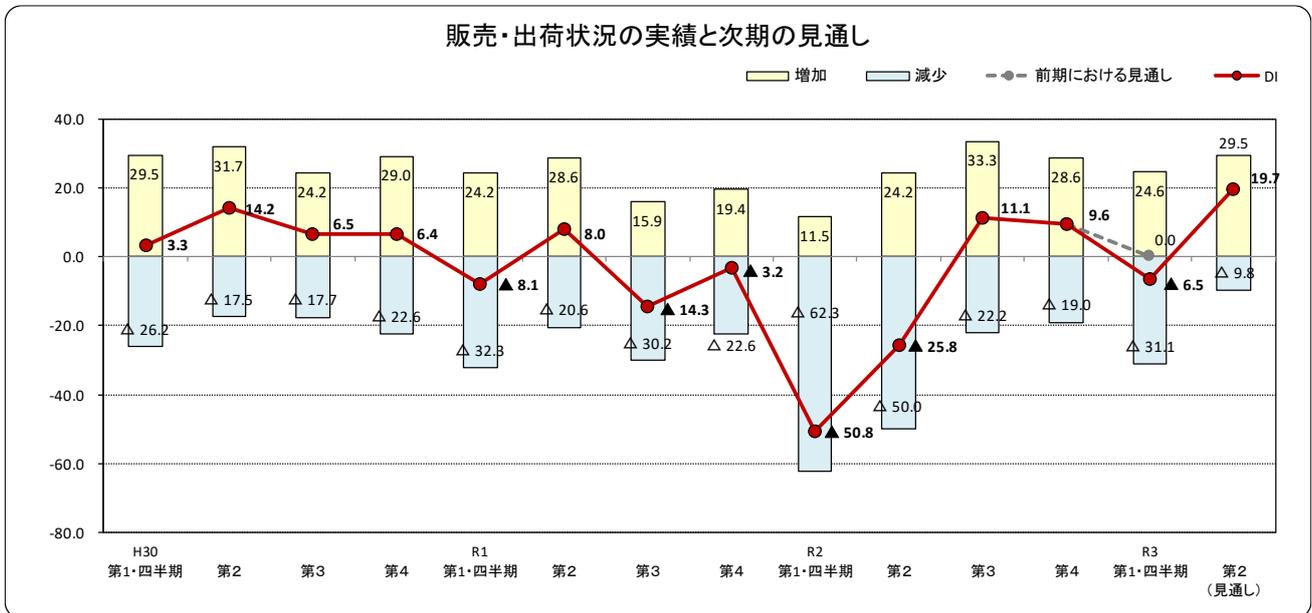
次期の見通しについては、D Iは13.3で、上昇する予想となっています。



【販売・出荷状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の販売・出荷状況では、「増加」が24.6%、「減少」が31.1%で、D I（「増加」－「減少」）は▲6.5で前期と比べ16.1ポイント下降し、3期ぶりにマイナスとなりました。

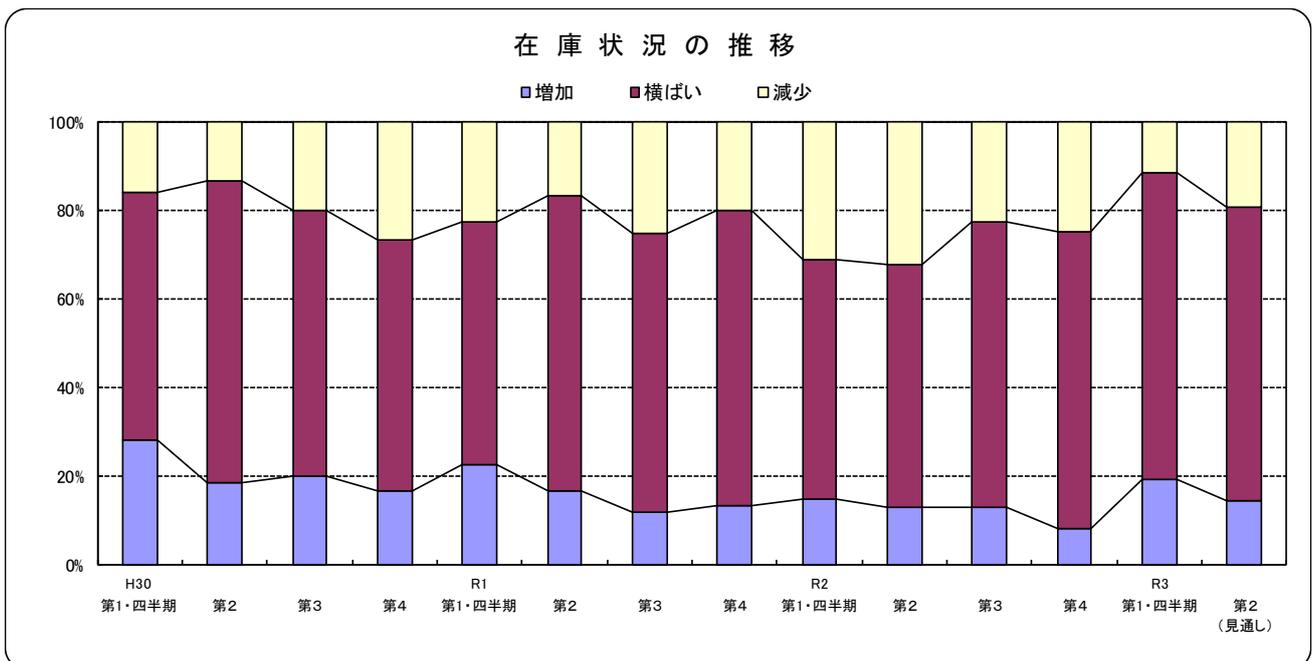
次期の見通しについては、D Iは19.7で、上昇する予想となっています。



【在庫状況】

今期の在庫の状況についてみると、「増加」が増加、「減少」が減少、45期連続して「横ばい」が最も多くなりました。

次期の見通しについては、「増加」が減少し、「減少」が増加する予想となっています。

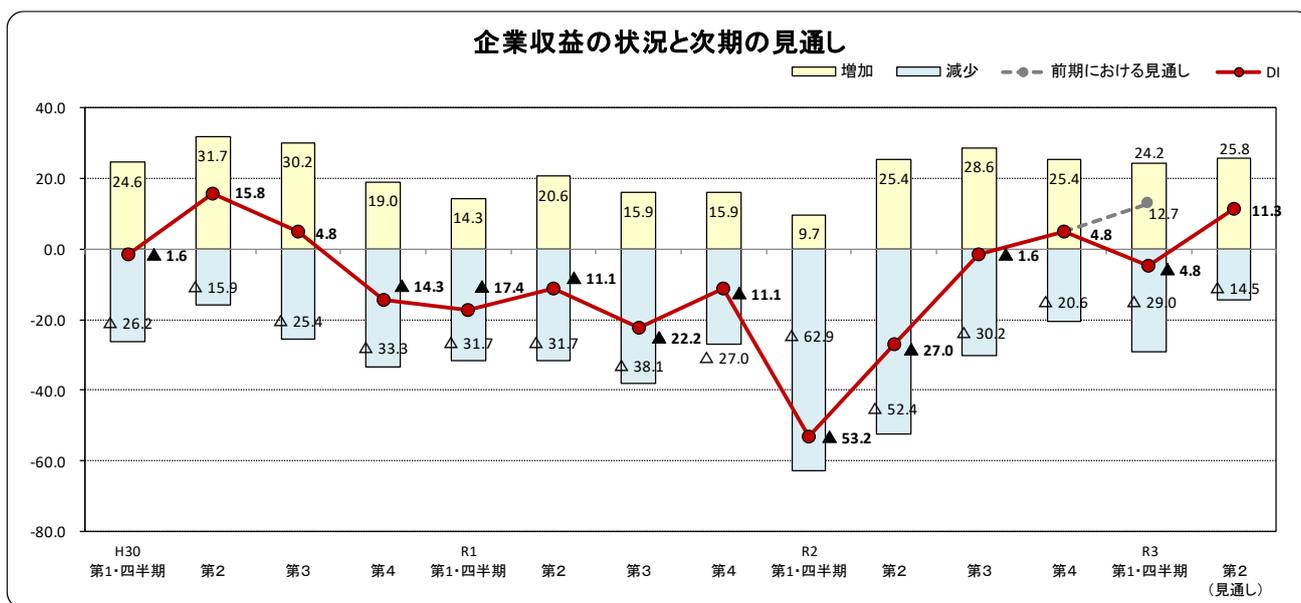


2. 企業活動の状況について

【企業収益の実績見込みと今後の見通し】

今期の企業収益の状況では、「増加」が24.2%、「減少」が29.0%で、D I（「増加」－「減少」）は▲4.8となり、前期と比べ9.6ポイント下降し、2期ぶりにマイナスとなりました。

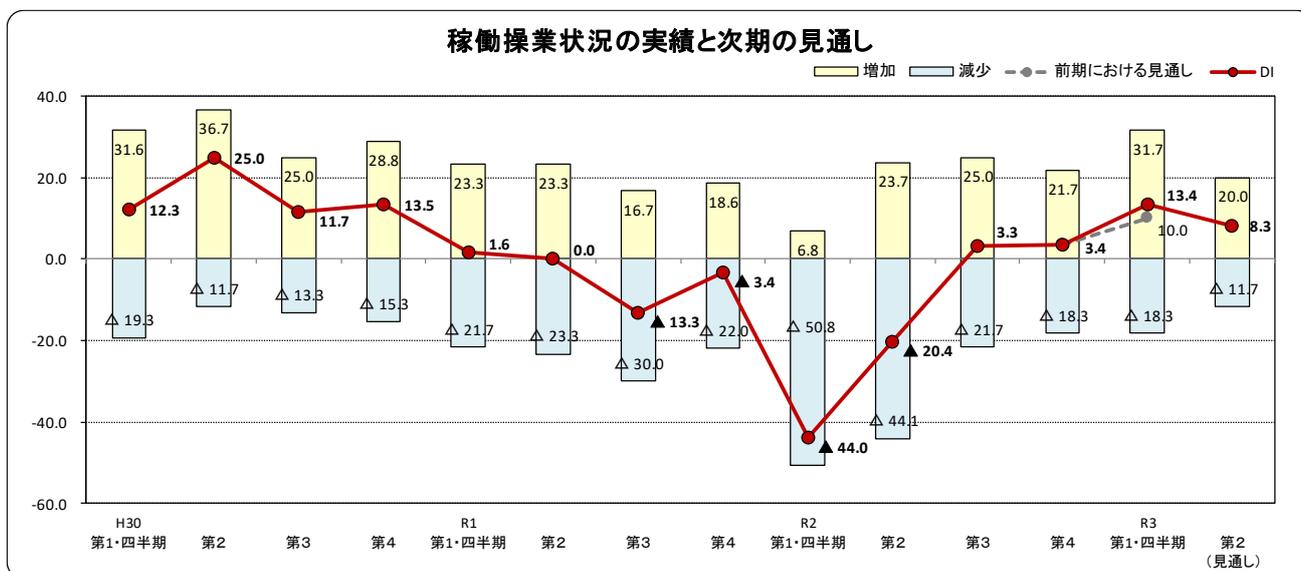
次期の見通しについては、D Iは11.3で、上昇する予想となっています。



【稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し】

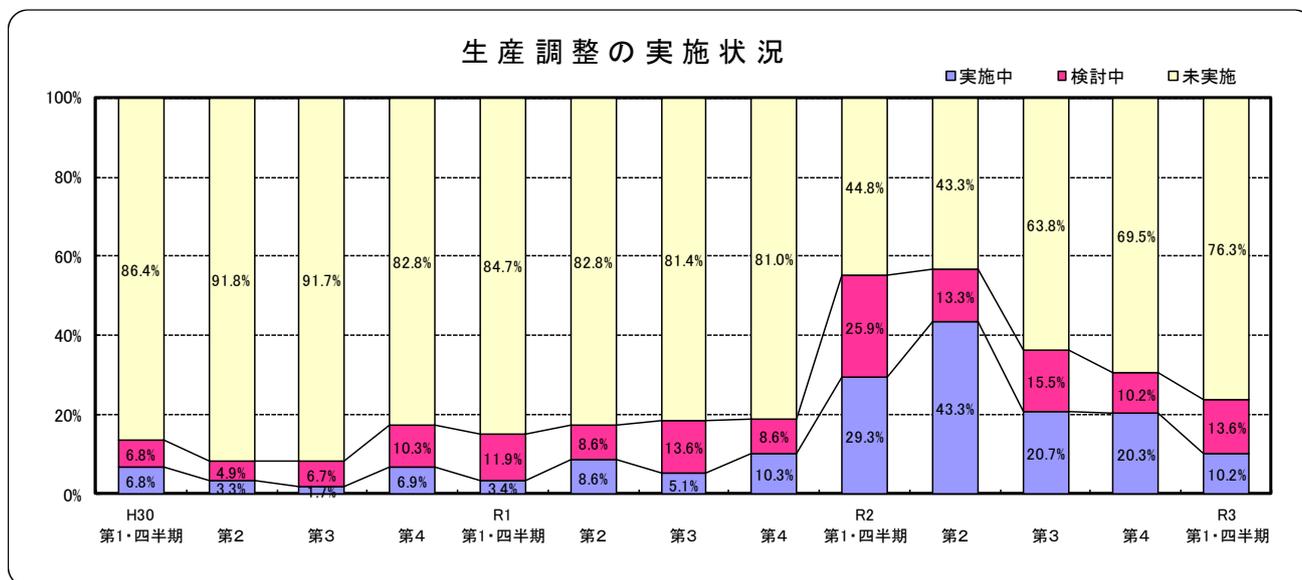
今期の稼働操業状況では、「増加」が31.7%、「減少」が18.3%で、D I（「増加」－「減少」）は13.4となり、前期と比べ10.0ポイント上昇し、3期連続でプラスとなりました。

次期の見通しについては、D Iは8.3で、下降する予想となっています。



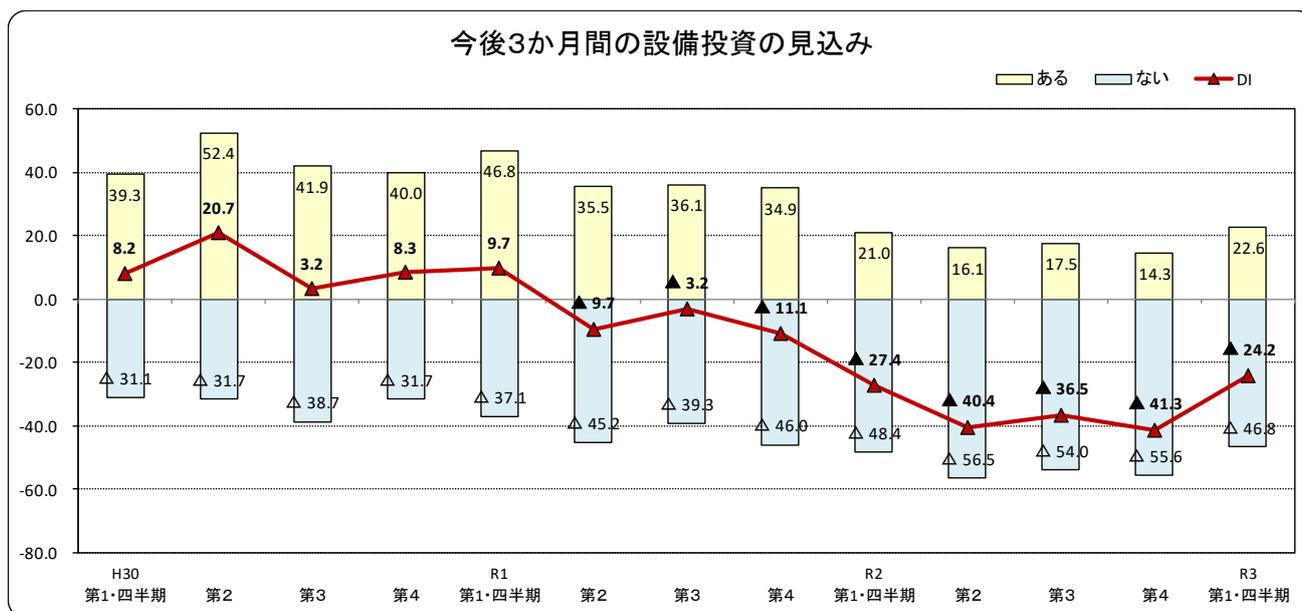
【生産調整の状況】

生産調整を「未実施」とした事業所は、今期は76.3%で前期と比べ6.8ポイント増加、「検討中」は13.6%で3.4ポイント増加、「実施中」は10.2%で10.1ポイント減少となりました。



【設備投資の見込み】

今後3か月間の設備投資の見込みでは、「ある」とする事業所の割合は22.6%で前期と比べ8.3ポイント増加、「ない」とする事業所の割合は46.8%で前期と比べ8.8ポイント減少、D I（「ある」-「ない」）は▲24.2となり、前期と比べ17.1ポイント上昇しました。

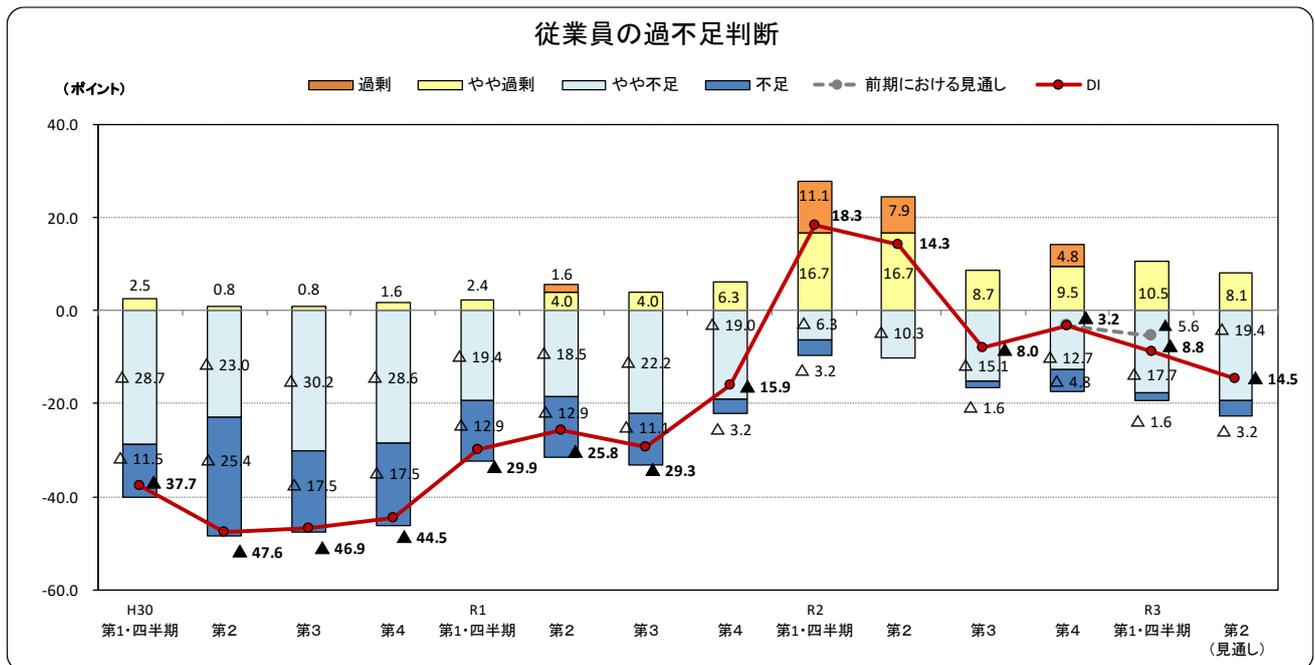


3. 雇用動向について

【従業員の過不足判断】

「過剰」とする事業所は 0.0 ポイントで前期と比べ 4.8 ポイント減少、「やや過剰」とする事業所は 10.5 ポイントで前期と比べ 1.0 ポイント増加、「不足」とする事業所は 1.6 ポイントで前期と比べ 3.2 ポイント減少、「やや不足」とする事業所は 17.7 ポイントで前期と比べ 5.0 ポイント増加し、D I（「過剰」-「不足」）は▲8.8 となり、前期より 5.6 ポイント下降（過剰判断が減少）し、3 期連続で不足判断が過剰判断を上回りました。

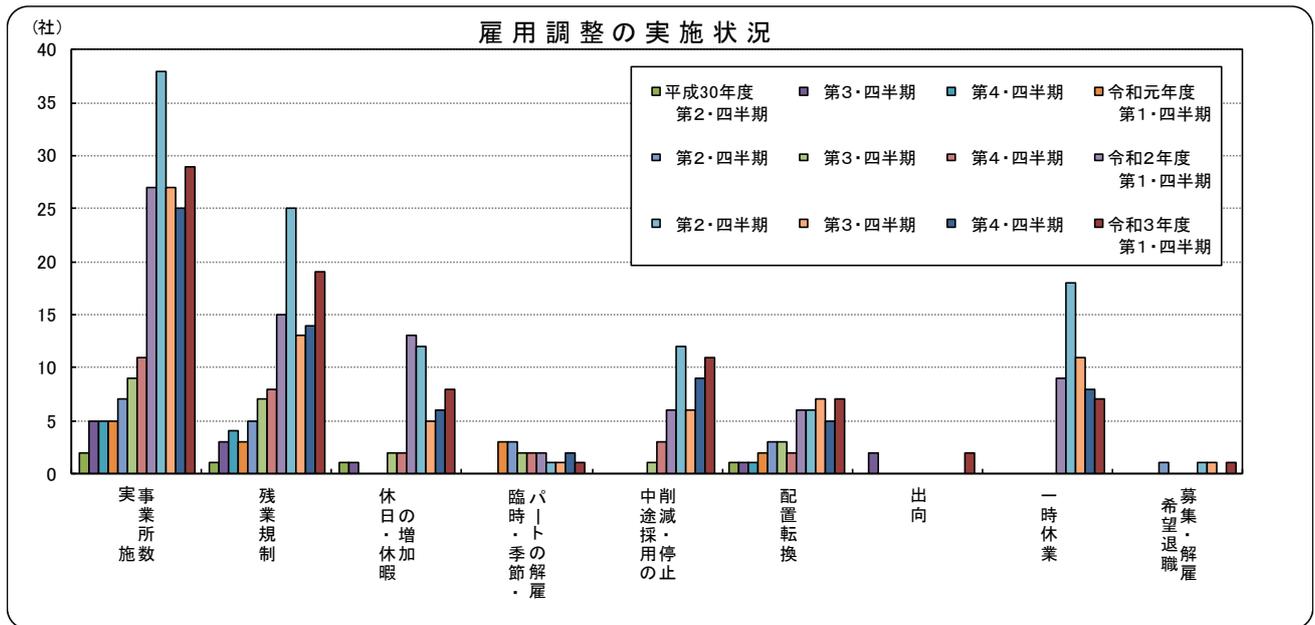
次期の見通しについては、D I は▲14.5 で、不足判断が増加する予想となっています。



【雇用調整の状況】

雇用調整を実施している事業所数は、今期は 29 事業所 (46.8%) で、前期の 25 事業所 (40.3%) より 4 事業所の増加となりました。

| | 合計 | 実施なし | 予定あり | 実施事業所数 | 残業規制 | 休日・休暇の増加 | 臨時・季節・パートの解雇 | 中途採用の削減・停止 | 配置転換 | 出向 | 一時休業 | 希望退職募集・解雇 |
|---------------|----|------|------|--------|------|----------|--------------|------------|------|----|------|-----------|
| 平成30年度 第2・四半期 | 62 | 58 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 第3・四半期 | 60 | 53 | 2 | 5 | 3 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 |
| 第4・四半期 | 59 | 53 | 1 | 5 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年度 第1・四半期 | 61 | 56 | 0 | 5 | 3 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 第2・四半期 | 62 | 54 | 1 | 7 | 5 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 |
| 第3・四半期 | 62 | 52 | 1 | 9 | 7 | 2 | 2 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 第4・四半期 | 62 | 51 | 0 | 11 | 8 | 2 | 2 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 令和2年度 第1・四半期 | 61 | 25 | 9 | 27 | 15 | 13 | 2 | 6 | 6 | 0 | 9 | 0 |
| 第2・四半期 | 59 | 18 | 3 | 38 | 25 | 12 | 1 | 12 | 6 | 0 | 18 | 1 |
| 第3・四半期 | 63 | 33 | 3 | 27 | 13 | 5 | 1 | 6 | 7 | 0 | 11 | 1 |
| 第4・四半期 | 62 | 34 | 3 | 25 | 14 | 6 | 2 | 9 | 5 | 0 | 8 | 0 |
| 令和3年度 第1・四半期 | 62 | 30 | 3 | 29 | 19 | 8 | 1 | 11 | 7 | 2 | 7 | 1 |



<主なコメント>

- 前期に比べ受注は減少するものの、一部ではやや回復が見られる状況。(製造業)
- コロナ影響あるが、次期は増加する見通しあり。(製造業)
- 前期はコロナの影響を大きく受けたが、今期、次期は宿泊客の回復を予想。(宿泊業)
- 3月まで受注も多く生産対応してきたが、4月以降減少が著しい。(製造業)
- 派遣社員を一部雇止め。新入社員も最小限の採用とした。(製造業)
- コロナの影響を受けた設備投資が回復基調に転じ、受注が徐々に増加。(製造業)
- 高利益水準だったが次期は、稼働率低下、電気料金、原材料の値上げの影響を受ける見通し。(製造業)
- 今期、次期とも従業員に過不足感は無く、雇用調整の予定もなし。(製造業)
- 通信販売業務が好調によりパート採用あり。(製造業)
- 店舗の形態を変えたため、増加している要因もあり。(小売業)
- 北米の寒波影響から、樹脂材の材料不足の影響が出る可能性あり。(製造業)
- 増加傾向にあるが緊急事態宣言の影響が出てくる可能性あり。(製造業)
- コロナ禍の影響はあるが、全体として受注・販売は増加。(製造業)
- 政府による補助金事業による受注が増加し、概ねフル生産が続いた。(製造業)
- 自動車用半導体不足の影響により大幅な減少に転じる可能性が有る。(製造業)
- 在庫については、出荷待ちの製品が多少あるものの、ほぼ適正量である。(製造業)
- 新型コロナウイルスの影響による受注減は解消している状況。(製造業)
- 電子部品の入手難により生産にインパクトが発生している。(製造業)
- コロナ及び半導体不足等の影響が引き続き続いている。(製造業)
- 世界的な半導体不足により、生産活動及び収益に影響が出ている。(製造業)
- 受注産業のため手持ち工事だけでは減少しか見通せない。(建設業)
- 受注・生産横ばいも一部の部署は増産予定あり。(製造業)
- コロナ対策の動向に大きく左右される。(製造業)